

表紙物語

拡大版

餅つき大会開催



応援!!



みんなで

今月の表紙は12月20日、相馬こども園にて餅つきが行われた時の1コマだ。これには2歳以上の園児が53人参加し、青年部員7人が協力に訪れた。

使用されたもち米はもちろん青年部が丹精込めて育てたもち米で、4升分をつき上げた。

餅つきが行われる前に園児たちを集め、十二支について、ネズミがどうして一番初めに呼ばれるのかという話をしたり、お正月にはみんなの家ではどんな味や形のお餅が食べられているのか、などの質問がされ、きな粉味やしよゆ味などの意見が多かった。また、お正月にはみんなの健康を願う為にもお餅を食べるんだという事を勉強し餅つきに関して理解を深めた。

そして青年部員らは、園児らに囲まれて餅つきを慣れた手つきで行い、餅つきを行っている最中には園児らで「ヨッコイショー！ ヨッコイショー！」の掛け声や、「ペッたんぺったんぺったん♪」とお



みんなでぺったんぺったんお餅つき



とっても美味しくできました



餅つきの歌をうたい応援していた。青年部員らは励まされ一生懸命汗を流しながら作業することが出来た。

次に年長さんから18名が2人ずつ餅つきを体験した。見ていた時から「やりたいやりたい」という声が聞こえてきたこともあり、とても楽しく笑顔で行なっていた。女の子は「楽しかったけど重くて腕が疲れた。」など初めて持つ杵の重さに驚きながらも、笑い声をあげながら楽しんでいった。また、男の子らは「もっと上からドーンと餅をつきたかった。」など男の子らしい感想を聞くことが出来た。

みんなでついた餅は、すぐに手伝いに来てくれた園児のおばあちゃんや、園の給食担当者で手際よく1口サイズに丸められ、みんなで頂いた。お餅はお好みによりきな粉や醤油、あんこをつけて食べ「もちもちで美味しい。」と言いながらおかわりする園児もたくさんいた。

青年部員らは「園児らの楽しそうな笑顔を見る事ができたので、これからもこの行事も続けていきたい。」と意気込んでいた。